



みらいん

みやぎの

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月の
ひと

”やんべ”な性格の
中野小学校PTA会長

巡りあわせの重責も
皆のサポートでなんのその！

「皆が手伝ってくれるのでなんとかがやいています！震災を生き残った者の定めかなと思つて。：なんちゃって」。照れ笑いするのは、今年四月に中野小学校PTA会長に就任した伊藤裕二さん（写真中央、両隣は小学生の長女と次女）。今年、PTA会長のほかにも蒲生にいた時から関わっている港消防団町蒲生部の部長に指名されるなど、責務が重なる巡りあわせの年となりました。そんな伊藤さんが気にかけているのが、子どもたちや保護者の心のケアと中野小学校の今後についてです。「スクールカウンセラーなどを大いに利用していただきたいですね。今後については、子どもたちのことを第一に考えて話し合っていきます」と、神妙です。「学校は地域とともにあるもの」と二層実感している伊藤さんは、三塚修校長はじめ理解ある先生方や仲間と協力し、運動会や学芸会などの学校行事を通じて、震災でバラバラになった地域の皆さんとの交流を図ります。「やんべ”な性格なものですから、皆さんの手を借りてね（笑）」。穏やかな印象の伊藤さんですが、普段から子どもには厳しく、目指すは昭和の父親像です。

2013
9月

地元で事業を続けています

再び事業に専念できるようになった被災事業主の方々に、事業を立て直すまでの経緯や地域との関わりがどう変わってきたのかを伺いました。

江栄電業舎（電気工事業）

西原



社長の倉一さん（前列左から2番目）を筆頭に現在は9名体制。息子の雄一さん（前列右端）をはじめ、西原や和田出身の方が多く従事する地域に根差した企業です

長年の関係があったから

一九六九年に社長の堀江倉一さんが西原で創業した江栄電業舎は、一九九〇年に建設業登録をした電気工事会社です。震災前から集合住宅を中心に、西原を含め市内全域で電気工事を請け負っていました。

震災では、事務所建物や三千万円分の資材が流され、工具類

も全部駄目になりました。「もう再起不能か」と打ちひしがれた倉一さんにすぐに銀行が融資、

長年繋がりのある建設会社の大東建託や電気工事組合からも資金面で助けられました。さらに「何とかまた頑張っぺ」と近隣出身で困難な状況にあった従業員の方々の後押しもあり、再起することができました。

事業再開後は、まず地域の復

興を優先したい、と近隣の事業所などの電気工事を進めてきました。引き続き集合住宅の仕事が多いなか、ここ一年くらいは市内各地で建設中である民間の被災者向け二重ローン対策の「自宅・賃貸住宅一体型」アパートの電気工事も増えてきています。

うちは皆が家族同然

「うちは一度関わったからには最後まで社員の面倒を見る主義」と、社長夫妻。その言葉通り、退社して独立する社員には、その後も仕事を回したり手伝ってもらったりしながら家族のような付き合いをしています。この春には倉一さんの孫である遠さんが入社し、三世代が同じ道を歩み始めています。

今後、蒲生北部地区一帯では土地区画整理事業が計画されています。先行き不透明な地域の将来に落ち着かない日々を送る夫妻ですが、日中事務所を預かる妻のふさえさんは「西原に来たら、お茶っこ飲みに寄ってくださーい」と元の近隣の方々に呼

センダイ内装（内装業）

新浜



左奥から親方の喜一郎さん、舞さん、麻希人さん、いな子さん。自宅倉庫前で

お客さんに支えられて

長く大工をしていた永井喜一郎さんが、新浜の自宅に妻のいな子さんと内装業を始めたのが一九九二年。手先が器用で丁寧な仕事ぶりは、地域内でも評判となっていました。

震災後は間屋さんの協力により、失った商売道具を揃えることができ、仕事を再開する意志を固めました。昨年三月からは娘の舞さん、婿の麻希人さんも加わり、喜一郎さんは親方として家族を引っ張っています。「人の繋がりは大事さ」と口にする喜一郎さんは、新浜町内で再建したお宅の内装を何軒も手がけています。

本山造園（造園業）

南蒲生



左から、長く仕事を共にする佐藤勉さん、片腕である淳さん、親方の博さん

仕事は思いやり

震災により、蓄えていた商品や道具を失った本山造園は、二代目親方の本山博さんと次男の淳さんが家業を守っています。掃除をこなしながら四カ月後に事業を再開しました。岡田の近隣顧客のうち、土地を離れてしまった方や、まだ庭にまで手が回らない方が多い県道塩釜巨理線より東側からの依頼がなかなか無く、博さんは寂しさを感じています。

四六時中、顧客のことを考えているという博さんは震災後、地域顧客に樹木をプレゼントしたり、樹木の処分料をサービスタリしました。

地元のお客さんから

庄司良江さん

「亡くなった主人が大好きだった純日本庭園。雑草取りは大変だけど、「和風の庭づくりに徹して欲しい」という言葉を今も守っています。ずっと本山さんにお世話になってきました。これからは手入れをお願いしたいですね。」



左が良江さん。「うちの親父が死ぬ間際に一緒にやった仕事で大作。見れば分かる」と博さん。良江さん宅の庭で

地元のお客さんから

大友光明さん

「西原でサッシ屋として独立して10年弱です。去年の秋にここでの事業を再開したんだけど、その際に電気工事関連を江栄さんをお願いしたのね。私が堀江さんの家のサッシを入れたり、何かあれば地元で仕事をやってるから、付き合いがありますよね。」



左から大友さん、江栄電業舎社員の鈴木正芳さん、遠さん。大友さんと鈴木さんは同級生で、近隣の仲間と時々酒を酌み交わしています

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●14日(日) 悔し涙は来年に向けての力!
(仙台市体育館)



3年前に県優勝、昨年は県準優勝と、近年好成績を収めている岡田体振家庭バレーボールチーム。仙台市大会の初戦はエンジンのかかりが悪く、昨年の県優勝チームに敗退、続く第2戦も落としてしまいました。試合後、選手の子玉美智子さんが肩を落とす仲間に「アビールの仕方や試合運びをもっと上達させなきゃ」と促すと、「相手は「強豪の岡田だ!」って必死で来る。ハートが強くない」と我妻陽子さん。佐藤理香さんは「今日の負けは良い経験」と、来年に向けた課題を口にしました。

●28日(日) 草刈り作業とバーベキュー
(鶴巻1丁目東公園仮設住宅)



自治会主催で今年2回目の草刈り作業を実施。住民約40名が参加し、刈り取った草は約200袋にもおよびました。作業後はバーベキューで楽しく交流。次の草刈りは9月28日の予定。

●30日(火) 稲の直播の観察
(南蒲生)



南蒲生での取材の後に、今年ではじめて直播での栽培を試みている水田の生育状況をチェック。他の田んぼに比べて緑色が濃い稲が、長い梅雨にもめげずスクスクと育っていました。

●8月10日(土) おかだ夏まつり
(岡田小学校校庭)



震災後、岡田学区の結束を目的に、がんばっへ岡田の会や各種団体、有志の方々によって開催されてきた夏祭りも今年で3回目。この日は最高気温が35度に達したこともあり、かき氷を美味しく食べる浴衣姿の子どもたちや、久しぶりの再会にビールで乾杯する大人の姿があちこちで見られました。バンド演奏やすずめ踊り、アイドルグループクッキーズなど地域の皆さまの活躍で子どもたちの思い出に残る、にぎやかな夏祭りとなりました。皆さん、盆踊りも参加しましょうネ。

わたしの近況報告

第15回 このコーナーでは、中野・岡田地区出身で現在は借り上げ民間賃貸住宅などにお住まいの方々にリレー形式でご登場いただきます。



鈴木さんご一家(中野・蒲生)

(左から)均さんと乙蓮ちゃん、淳さんと柚蓮ちゃん、美記さん

「津波だ!」大声が救った命

蒲生町内会副会長を務める均さんを大黒柱に、家族6人で暮らしていた鈴木さん一家。3月12日に結婚式を控えていた長女・美記さんと夫の淳さんは、翌日の準備で来訪していた方を沖野まで送るため、地震直後に自宅を出発。均さんはすぐに中野

小学校へ駆けつけ、校舎前で「屋上へあがれ!」と、地域の皆さんの避難誘導に懸命でした。ふと海のほうへ目をやった均さんは、松林を超える高さの真っ黒い津波の壁に驚き、出せる限りの声で「津波がきた!」と叫び、自分も必死に階段をあがり助かったのです。夜半には同じ町内の方が携帯電話で美記さんへ連絡をしてくれて、お互いの無事を確認できました。しかし、中野小学校に避難している方々の中に、妻・清子さん、母・たみこさん、そして長男・裕矢さんの姿はありませんでした。

未来に「蓮の花」を咲かせよう

当時、妊娠6か月だった美記さん案じながらも、親せき宅や美記さんの友人家族のアパートなどを転々とする「流浪の民」状態が続いた一家。2011年5月下旬に

は、高砂の借り上げ民間賃貸住宅に引っ越し、落ち着きました。7月には乙蓮ちゃんが誕生し、その存在は家族全員の希望であり、慌ただしい毎日に皆が救われたと言います。今年3月には、美記さんと淳さんが「リベンジ結婚式」をあげ、ひとつの区切りがつかしました。そして夫妻には7月、次女・柚蓮ちゃんが生まれ「未来への希望」がまた増えたのです。震災では親せきや友人たち、見ず知らずの方々にもお世話になり感謝しています。「皆さんの応援で立ち直れたので、有難いと思っています」と均さんが語れば、「乙蓮が小学校に入学するまでには新しいスタートに立ちたい」と、がれきの中から奇跡的に見つかった結婚指輪をはめた2人が語ります。希望する田子西隣接地区に実際に家が建ってから、鈴木さん一家の本格的な出発です!

まちの語り場

南蒲生復興部

個々の生活再建と復興を迅速に進めるため、南蒲生独自の復興まちづくりを進めています。

七月二十八日(日)定例住民説明会

内容

- 津波避難施設、かさ上げ道路説明会
- 質疑応答

当日の様子

仙台市から、町内に二カ所建設予定の避難施設について説明がありました。交通局岡田出張所跡地には消防団施設併設の避難ビル、岡田会館敷地には三階相当部分を屋内避難スペースとする避難タワーの案が示されました。かさ上げ道路については、高砂橋たもとや南側で県道塩釜亘理線と接続させる計画案に対し、県道の更なる渋滞を懸念する声や、かさ上げ道路を北進させて七北田川への架橋を望む声がありました。参加住民は七十名程と、関心の高さがうかがわれました。



問い合わせ先
代表 芳賀正 080-1663-7382
会合は随時開催
住民説明報告会
毎月最終日曜日 岡田西町仮設住宅集会所

中野小学校区復興対策委員会

中野地区四町内会(港・蒲生・西原・和田)が「丸」となり、復興に向けた活動を行っています。

八月四日(日)定例会議

内容

- 復興事務局から説明と報告
- 委員側からの質疑応答

当日の様子

七月の個別相談会並びに建築セミナーの状況と、復興公営住宅の入居者募集方針について資料をもとに復興事務局から説明がありました。個別相談会の参加百九十二世帯の中で特に多かった相談内容は、戸建復興公営住宅の家賃等と住宅ローンの借入・返済に関してでした。個別相談会は年度内にもう一回実施予定。なお、復興公営住宅の「優先入居」対象者の募集期間は、九月中旬との予定が示されました。宮城野区からは、被災者交流活動助成事業の募集について説明がありました。



問い合わせ先
委員長 高橋實 022-258-3068
定例会議
毎月第1、第3日曜日16:00~
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

読者から
ひとつこと

●中野小学校五年生になった孫の真望をいつも下校後に預かり、一緒に遊んでいます。心優しい子で「おじいちゃんがかびしいだろうから」と、犬のぬいぐるみを部屋に置いて行ってくれたんです。
菊地武三郎さん

●家族で利府町に移り住んでますが、福田町の病院だのに行った帰りに生協に寄ると、蒲生の昔馴染に会うことがあって懐かしい。以前はそんなに話さなかった人でも、会えるとうれしいもんです。今後は仙台港背後地住宅地区に移る予定です。
阿部助五郎・敬子さん夫妻

●震災前は西原に住んでいました。皆さんのお蔭で、今年七月「仙台新港マスターズサーフィン選手権2013」を開催できました。その実行委員会会長をします。我々サーファーの心の中には「アロハスピリッツ」があり、そのひとつに「クックアー」という言葉があります。それはお互いに助け合い、労わり合うという意味で、日本語の絆に近い精神です。復興まで長い道のりと思いますが、我々ができることは一生懸命やりますので、皆さんよろしくお願いします。鈴木達さん

東日本大震災から二年半。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々がいます。地域に根差して支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

仙台傾聴の会(森山英子代表)は二〇〇八年から、名取、仙台両市内の介護施設などで、認知症やうつ病を患う方々の悩みや不安にじっと耳を傾ける支援を行ってきました。震災を機に、仮設住宅や市民センターなどで「茶話会」のような場を定期的に設けるようになり、現在もなお、被災された方に寄り添い続けています。会のメンバーは仙台市を中心に県内在住の約二百人。民生委員や看護師、薬剤師など職業も年齢もさまざま、実際に傾聴するにあたって基本的な講習を必ず受講しており、中には臨床心理士などカウンセラーの資格を持つメンバーもいます。

憲一さんは言います。自立への歩みを踏み出し、気丈に振る舞いながらも、周囲にはなかなか言えない不安や悩みを抱えた方は少なくありません。知り合いの目を気にせず、ゆっくり話ができる茶話会は、そうした方々の心を軽くする場になっていくようです。若林区内からバスに乗って毎月通っているという八十代の女性は、同じような思いで通い続けている幼なじみの同級生との会話に花を咲かせていました。「ここじゃさ、周りに気つかわなくていいがらっしゃ。好きなこと話せんだがらいいのっ



くつろいだ雰囲気、ボランティアと参加者同士が話を交わし合う「傾聴茶話会」

「しゃ」。「こんな風にこの会を楽しみにしてくださる方もいて、日常の何気ない会話も増えましたね」。事務局長の伊東みどりさんが、おぼろげに目を細めていました。

傾聴の基本は、相手を認め、話を受け止め、共感すること。どんな話でも、どんな人でも、メンバーたちは温かく迎えてくれます。「悩みを一人で抱え込んでいる人はまだまだいると思います。会話に限らず、同じ時間を共有することで、ほっとした気持ちになってもらえたらとてもうれしいです」と、長田さん。仮設住



冊子「あなたの心によりそう 傾聴ボランティアの視点」。会員の思いや日常でも使える傾聴のポイントが載っています

宅などで行う傾聴の際、最近では、個人宅にお邪魔して話を聞くことも増えているそうです。

会では先日、震災後の活動記録などをまとめた冊子「あなたの心によりそう 傾聴ボランティアの視点」を刊行しました。会発足から五年間の歩みや会員が日常の傾聴活動で感じていること、日ごろから使える傾聴のポイントなどが盛り込まれています。

傾聴活動 9月開催日程

申込不要、参加無料

傾聴茶話会
10月7日(月)10:30～12:00
仙台市市民活動サポートセンター

傾聴サロン
9月7日(土)、10月5日(土)10:00～15:00
仙台市福祉プラザ

電話相談：080-3199-4481
(火・木・土曜日9:00～17:00)

問い合わせ
仙台傾聴の会 森山英子代表
090-6253-5640
<http://blog.canpan.info/morimori/>

取材：遠藤柊子、福長悠@東北大学大学院
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。
<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/> より (地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

仙台フィルとうたう「花は咲く」合唱団
参加者を募集します

宮城野区の被災した方が合唱を通じて交流する機会をつくります。毎月1回「花は咲く」の合唱の練習をし、来年4月に仙台フィル楽団員の演奏と一緒に歌います。練習ではお茶のみ会も行います。初心者の方もお気軽にご参加ください。

対象 おおむね60歳以上 各会場30名ずつ(先着順)
※本番に出なくても練習のみの参加も可能です

練習期間 10月から平成26年4月まで毎月1回 平日10:00～11:30
練習場所 高砂市民センター 10月9日(水)、11月13日(水)、12月11日(水)
宮城野区中央市民センター 10月1日(火)、11月6日(水)、12月3日(火)
本番 平成26年4月23日(水)15:00～
宮城野区文化センター パトナホール
※詳しくはプレハブ仮設住宅、宮城野区役所、宮城野区文化センターで配布するチラシをご覧ください

申込 9月11日(水)10:00～ 電話で受付
問 022-797-0233 音楽の力による復興センター・東北、022-291-2111(内6135) 宮城野区まちづくり推進課

南蒲生復興祭を開催します

南蒲生子ども会、南蒲生町内会、南蒲生えんの会などによって、復興祭が開催されます。町内の将来について語り合い、祭りを通して親睦を深めましょう。

対象 どなたでも参加できます
時 9月29日(日)13:00～16:30
場所 専能寺境内
内容 すずめ踊り、餅つき、南蒲生太鼓、カラオケ、出店など
問 080-1663-7382 芳賀正

大切な方をなくされたひとのわかちあいの会

仙台グリーンケア研究会では、大切な方をなくされたひとの「わかちあいの会」を開催しています。ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、つらい気持ちなどを静かに語り合います。会の中で話されたことは、他にもれることはありません。申込不要、参加無料。

対象 大切な方をなくされたひと
時 9月21日(土)14:00～16:30(受付13:30～)
場所 仙台市シルバーセンター(青葉区花京院1-3-2)
※託児希望の方は事前にお知らせください
問 070-5548-2186 仙台グリーンケア研究会事務局

被災家族支援イベント

「子育て雨宿り アロハラウンジ」
震災で被災したママたちの気分をリフレッシュするイベント。ハワイアンムードを感じて、心もからだも心地よくほぐれる癒やしのひとときです。

対象 被災家族の親子(ママだけの参加も可) ※要申込(定員20名)
時 9月20日(金)10:00～11:30
場所 宮城野区中央市民センター
内容 ①プチシアター & 親子リズム遊び ②亀山先生のフラダンス ③育児セラピストによる音楽サプリと子育てアドバイス ④交流タイム
参加費 100円
問 090-9741-6334 NPO法人おひさまキッズ

健康応援団

健康についての講座や相談を行っています。地域の自主グループなどの運動の日もあります。(日程変更あり。詳しくは問い合わせを)

対象 どなたでも参加できます
時・所 各仮設住宅集会所

- ▼高砂1丁目公園 9月27日(金)10:00～10月2日(水)10:00～
- ▼鶴巻1丁目東公園 10月1日(火)13:00～
- ▼福田町南1丁目公園 9月16日(月)10:00～10月7日(月)10:00～
- ▼岡田西町公園 9月10日(火)13:30～9月26日(木)10:00～
- ▼港南西公園 9月6日(金)10:00～10月4日(金)10:00～
- ▼仙台港背後地6号公園 9月18日(水)10:00～
- ▼扇町1丁目公園 9月20日(金)13:30～
- ▼扇町4丁目公園 9月11日(水)10:00～

問 022-291-2111(内線6782、6784) 宮城野区家庭健康課健康増進係

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

| サロン・イベント名 | 対象 | 時 | 時間 | 会場 | 内容 | 申込 | 問い合わせ |
|----------------------|---------------------|----------|-------------|-------------|---------------------------------------|----------|-----------------------------------|
| 泉区役所巡回相談・サロン「ちくちく工房」 | 泉区のみなし仮設にお住まいの方 | 9月10日(火) | 10:00～12:00 | 泉区役所5階 | 「ランチョンマット」を手づくりします。ちくちくしながらおしゃべりしましょう | 不要 | 支えあいセンター いずみ 022-772-5755 |
| いくねおちゃっこの会 | 六郷地区にお住まいの方、元六郷地区の方 | 9月11日(水) | 10:00～12:00 | 六郷市民センター | 若林地区・お楽しみかくし芸 | 要(電話) | 支えあいセンター わかばやし 022-781-0559 |
| なつかしの音楽・名曲クラシック | 宮城野区のみなし仮設にお住まいの方 | 9月14日(土) | 10:00～12:00 | 仙台市中央市民センター | 皆で懐かしい音楽を鑑賞しましょう | 要(電話) | 支えあいセンター みやぎの 022-292-0990 |
| ほのほの中央サロン | 太白区のみなし仮設にお住まいの方 | 9月21日(土) | 10:00～12:00 | 太白区中央市民センター | リーフコースターづくり(手芸) | 要(電話) | 支えあいセンター たいはく 022-217-7234 |
| 第17回木町サロン | 木町地区にお住まいの方 | 9月28日(土) | 10:00～12:00 | 木町通市民センター | ディスコン(円盤を使い誰でも安全にできるスポーツ)&交流会 | 要(返信はがき) | 支えあいセンター あおば 022-217-7234 |

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲、歌詞はありませんが、何度聞いても「すつとこどっこい」と聞こえる一節があります。不思議な事に、この聞こえ方が日によって変わるのです。いつもは、おもしろおかしく、元気が下がっている時は、つまらなく聞こえます。音楽の一節に対する感じ方でもこんなに違うのかと驚いています。最近、我が家では、毎日の元気をこの一節で確認しています。

ところで元気が下がった時、皆さんは何をなさいますか。私は、からだの元気は、「寝る」「食べる」ことで保つようにして、心の元気回復のためには、マッサージや熱中できるダンスを行っています。また、普段から機会を見つけては風に向かって立ち、風に吹かれるようにしています。私は風に吹かれると、すっきりとしたからだの爽快感と、心の安らぎを同時に得られるのです。「風」に対する感じ方を、自分自身で刷り込んできたのかもしれませんが。

心の元気、皆さんはどの様にチェックし、どんなケアをしていますか。好きな事、楽しい事、夢中になれるもの、気持ちのいい事、癒やされる事等、ぜひ「心の常備薬」をご用意ください。

入江徳子（いりえ のりこ）

健康運動指導士として震災後、避難所や仮設住宅集会所で指導を行っている健康増進センターのリーダー的存在

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | | 2 | | 3 | 4 | 5 |
| D | | | | A | | |
| | | 6 | 7 | | 8 | |
| | | | B | | | |
| 9 | 10 | | 11 | | | |
| | | | | | 13 | 14 |
| | | | 15 | 16 | | |
| 17 | | 18 | | 19 | | |
| | | 20 | | | | |

タテのカギ

- ①仙台市初の名誉市民にして詩人、英文学者の土井〇〇〇〇。市内には、その名をとった〇〇〇〇通りがあります
- ②人口100万人を超える仙台市は、東北最大の〇〇といえます
- ④酒を注いで飲む小さい器
- ⑤仙台市在住の直木賞作家・伊集院静の妻は、女優の〇〇ひろ子
- ⑦敵の本陣、大きな組織の中樞
- ⑩9月20、21日、志波彦〇〇〇〇と塩竈〇〇〇〇にて、「しおがまさま神々の月灯り」が開かれます
- ⑭仙台市出身の漫画家・荒木飛呂彦の代表作といえば、「ジョジョの奇妙な〇〇〇〇」
- ⑯2002年にノーベル化学賞を受けた〇〇〇耕一は、東北大学出身
- ⑰9月14～23日、野草園にて「〇〇まつり」が開催されます
- ⑱寅さんの名ゼリフ、「〇〇は車、名は寅次郎。人呼んで…」

ヨコのカギ

- ①野球で、打つために必要な棒
- ③「ひよっこりひょうたん島」などで知られ、日本芸術院会員である井上〇〇〇は、仙台第一高校の出身
- ⑥「暗夜行路」「城の崎にて」などで知られる〇〇直哉は、石巻市出身
- ⑧芸人の〇〇英孝は、宮城県の魅力を全国に発信する「みやぎ絆大使」のひとり
- ⑨芸道で素質がないのは、〇〇が悪い
- ⑩今年のテーマは「音楽は無量大」。9月7、8日に、定禅寺ストリート〇〇〇フェスティバルが開かれます
- ⑫仕事から退いてのんびりと暮らすこと
- ⑬仕組みや機構の大きさ
- ⑮〇〇は世につれ世は〇〇につれ
- ⑰青葉城恋唄より。♪広瀬川～流れる岸辺～想い出は帰らず 〇〇〇～踊る光に…
- ⑲ことわざ。〇〇〇は人の為ならず
- ⑳マリンピア松島水族館でも人気者。「海豚」の読みは？

前回のこたえ

A ナ B ツ C ヤ D ス E ミ

でした。

| | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|---|----|---|---|----|---|---|
| 1 | ト | 2 | ス | 3 | ヤ | 4 | マ | 5 | ア | イ |
| 6 | ウ | ナ | 7 | ジ | 8 | ツ | ユ | | | |
| | | | 9 | ビ | 10 | ヤ | シ | 11 | コ | |
| 12 | ウ | 13 | シ | | 14 | タ | マ | 15 | シ | イ |
| | 16 | ハ | 17 | ワ | イ | | | | | |
| 18 | ア | ン | キ | | 19 | ハ | ナ | 20 | ビ | |
| | | | 21 | ミ | ロ | ク | | | | |

編集後記

不安定だった天候が作物の生育に影響がないことを願う初秋です。「ハーベストムーン」を鼻歌に夜空を見上げたり、金木犀の香りにときめいたり。心しなやかに過ごしたい季節です。(芳賀)

我が子が毎晩何度も泣き叫ぶ度、起こされまくる。寝相が悪く、毛虫のようにモゾモゾと布団から出て夢の中で泣いているようです。落ち着きの無い自分に似ているのかもしれませんが。(おおが)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mmmm.or.jp